

～希少がんを知り・学び・集うセミナー！～

希少がん Meet the Expert

第3回 「肉腫(サルコーマ)～総論～」開催レポート

今回で3回目となる「希少がん Meet the Expert」が3月10日(金)、国立がん研究センター希少がんセンターにて行われました(共催:がん情報サイト「オンコロ」、認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン)。今回のテーマは「肉腫(サルコーマ)～総論～」。

希少がんセンター長である川井章先生を講師に迎え、同センターの看護師である加藤陽子さんの司会のもとでの開催となりました。



今回の来場者数は、定員(30名)をはるかに超える約40名(国立がん研究センター関係者・報道等を除く)で、東京都近郊のみならず、遠方からも多く来られました。来場者がセミナーを知ったきっかけは医療系の媒体が多数なものの、「朝日新聞を見て」や「知人からの紹介」などもあり、報道や口コミによる広がりを見せていることがわかりました。

講演のテーマは“肉腫(サルコーマ)～総論～”とのことで、その概要が中心となりました。トピックは、「肉腫のキホン」「肉腫の外科治療」「肉腫の薬物治療」「肉腫の新たな治療開発」の4つ。肉腫には数え切れないほどの種類があり、その悪性度も千差万別であること、ステージごとの治療方法と成績、患者さんのQOLを考えた手術と薬物療法、今、期待されている薬の現状や希少がんの新薬開発においての問題点などを、実際の患者さんを紹介しながら分かりやすくお話いただきました。





来場者の質問に回答するQ&Aでは、川井先生と加藤さんに加え、「肉腫(サルコーマ)の会 たんぼぼ」代表の押田輝美さん、解説としてがんサーネットジャパンの柳澤昭浩さん、オンコロの可知健太さんが登壇されました。質問は、「臨床試験について知りたい」「肉腫は遺伝するの?」「がんが治る食品はあるのか」など。押田さんは、「医学的ではないところの相談は患者会の役割のひとつ。希少ながんではあるけれど、“仲間はある”と知っておいてください」とお話されました。

来場者の参加理由に、「肉腫について、何かひとつでも情報が欲しいから」「とにかく自分の病気のことがわからないので情報を得たい」という回答がありました。また、「症例がないと言われていたが希望が持てた」という感想も寄せられました。希少がん MtE は、水面下で多くの人が必要としていたセミナーであり、正しい情報を専門医から得ることにより希望を持てる場ともなっているようです。



(開催日:2017年3月10日/写真・文 木ロマリ)

【共催】

国立がん研究センター希少がんセンター/がん情報サイト「オンコロ」/認定 NPO 法人がんサーネットジャパン

【後援・運営協力】

株式会社かるてぽすと/樋口宗孝がん研究基金/株式会社クリニカル・トライアル/株式会社クロエ